

お客様各位

株式会社 山喜農園
新潟県魚沼市原1280-1
TEL. 025-794-2455
FAX. 794-4168
E-mail: info@yamaki-noen.co.jp
HP Address. http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

2015年産オランダ産百合球根・フランス産百合球根在庫表速報版送付にあたり

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

2015年産オランダ産百合球根・フランス産百合球根在庫表速報版をお送りいたします。
よろしくご確認ください。

本年より、フランス産百合球根が正式に新生産地として別途価格表/在庫表作成する運びとなりました。
既にご注文を頂いた方には、「オランダ産受注」「フランス産受注」を分けた受注管理/出荷残管理を行った帳票をお送りいたします。
よろしくお願い申し上げます。

今回の在庫表は、円貨を示しておりません。
「現地渡し価格=FOB 価」のみ示させていただいております。
いわゆるオランダ輸出業社⇄当社との間で、球数については合意されているが、正式価格の合意に至っていない品種が多く含まれております。

合わせて、オランダ産 O.H/O.T 系を中心に、仕入契約作業をあえて進めていない品種などにつきましては、「輸出業社の見積価格」をそのまま「参考価格」として使用しているケースもございます。

今回皆様にご案内する「**当社仕入予定価格=現地渡し価格=FOB 価**」はあくまでも目安と捉えてください。

適応レートはまだ確定しておりません。

14年産オランダ産につきましては、1EURO=¥136.0~142.5- の範囲で原価計算がされておりました。
(中心は¥139.0~139.5-)

15年産南半球産は、1EURO=¥130.0~134.0- (中心は¥134.0-) で原価計算がされておりました。

15年産北半球産(オランダ産・フランス産。取扱の有無は分かりませんが、ベルギー産。)につきましては、始めから厳しい為替レートで計算いたしません。概ね¥130強になるかと思えます。14年産オランダ産/15年産南半球産共に、始めから厳しく管理しすぎて結果論で言えばやや円安レートを使わざるを得なかったからです。ある程度ゆとりを持たせていただき、時間をかけて構築し、出来上がりが可能な限り良くなるようにしたいからです。

Plamv 問題を含め、近年のオランダ産百合球根の品種における価値感は、たった1年間の間に大きく変化してしまうケースが増えてきています。

- *日本国においての品種価値は、さほど高くなくとも、他国では高い評価を得ている。
- *まだ広く品種評価が定まっていないのに、供給可能数が突然増加。
- *日本国又は世界的にも評価が高まった時、日本が払える以上の単価を出せる新興消費国が出来ている。
- *特定の農家/特定のロットを生産継続して頂く為と考えられますが、同一品種/サイズでも価格差が生じる。
- *高評価を得ていても、Plamv リスクが高まってきている品種がある。加えて、そのことが各輸出/輸入業者毎に共通見解に達していない。(例えば…対象品種についてはお問い合わせください。)
- *その他

様々な品種背景を勘案しながら、仕入作業を実行しています。

既に仕入価格/取扱い可能数が確定している物もございますが、昨年暮れ以降、13年産オランダ産/14年産南

半球産の急速なリスクが上昇してきている結果を踏まえ、さらに言えば2010年産～2013年産までどのように母球生産/管理がなされてきたかも意識しながら仕入作業を進めてまいりました。

昨年までの品種解説と違ってくるケースも多々あるかと存じます。

不明な点等ございましたら、是非お問い合わせください。

今回取り急ぎ「在庫表速報版」をお送りしたポイントは、

1) A.H/L.A系の確保作業を進めていただきたいのです。

現地では相変わらず球根不足の状態が続いている様です。

特に遅れていたPlamv洗浄作業がようやくL.Aでも開始された。従って、仮に不心得な球根農家が汚染の確認されている球根の生産を行っていたとしても、取扱う意志の無い輸出入業者が増えてきているから。新品種の中から普及品種として定番化できる物が確認され始めました。

計画生産/計画販売の実行性が高い定番品種の確保作業を開始してほしいです。最新品種は慌てなくてよいです。

2) フランス産球根の確保作業を進めていただきたいのです。 (主要輸出業社=当社取引業社は3~4社。PO社/VZ社/VDZ社/etc.)

既に今在庫表FOB価でもご確認できますように、フランス産球根につきましては、「南半球産・N.Z/C.H産同様」生産会社毎に価格が変動しています。

単純に、高い球根が良い球根だと思わないで下さい。(一般的にはそういう結果が出るケースが多いですが…)

この価格差は、むしろ「使用される方法や適した作型」などが、既にオランダ輸出業者により、各国での球根消費状況・切花栽培の結果で確認されていて、使用方法がある程度説明できるロットである。その分だけ取扱いしやすいから球根栽培農家の要望を飲み込んだ価格、と捉えていただいたほうが良いかもしれません。(輸出業社がマージンを+αで上乗せしているという意味ではなく、使い方が解っているから、球根栽培農家に対しても上乗せした支払が実行されています。該当ロット生産継続の為です。)

フランス産につきましては、3年ほど前から現地圃場確認に入り、本年6月/9月ヨーロッパ出張の際には、オランダのオーナー会社各担当との打ち合わせ会議を進め、推定6~8軒いるオーナー農家各担当の考え方を理解し、農家毎の特徴を整理していこうと計画しております。

今回、MAK/HLC/VOF等とは別の、生産ロットの特定していないフランス産球根も、N.Z産/C.H産同様その特徴を理解すれば正しい使い方を見いだせると考えております。

少なくとも、輸出業社が万全を期して進めてくれたロットだと理解しております。情報料とネームバリューが無い分だけ、多少お安くなっているとご理解ください。(決して、良くないから安い…のでは無い。)

3) オランダ産O.H/O.T系

在来系/一般系品種は言うに及ばず、特殊系/少量生産品種/一部輸出業社独占流通品種に至るまで、単純に仕入契約を結んでいくつもりはありません。(ビックリするくらいPlamvが広く様々な品種に拡散してきているから。濃度は下がってきているとは思いますが…作型毎の発症率は??)

確認しながら作業を進めてまいります。

皆様から受注した後、「やはり扱えません」というケースが増えそうです。特に、養成球サイズにおきましては、複雑な打ち合わせ工程を経て、契約合意形成されると考えられます。その準備が出来ていない輸出業社からは、場合によっては仕入を控えざるを得ません。仮にその会社しか取り扱いのない品種であったとしても…。(養成球については、現在までの所、信用できそうな仕組みを整えてきたのは3輸出業社のみです。(PO社/VZ社/ZP社) 継続他業社との協議を進めます。

早く安心して複雑な背景を考えることなく、球根確保作業が出来るような環境に戻ってほしいと願っていますが、これも「球根業社の仕事」・「仕事の醍醐味」だと受け止めて、頑張りたいと思います。

よろしくお願ひ致します。

ご不明な点等、お問い合わせください。



以上 森山 隆

<http://www.lily-promotion.jp/>
私共はLilyの強みに賛同し
協力・応援しています